

④ 平成28年度外部評価結果報告

◎外部評価とは

町では、行政運営の成果を経済性、効率性、有効性などから分析して評価し、業務を見直し、改善していく行政評価を平成14年度から始めました。

そのひとつが外部評価で、総合行政審議会（総務部会）委員が、行政内部だけでは気づきにくい課題や住民と行政の意識の違いなどについて検証を行っています。

行政事務のチェックは、町の監査委員が法令などに基づき専門的な観点から監査を行っていますが、外部評価はあくまでも住民の視点・感覚から町の施策や事業を評価するという点で趣旨が異なります。

【総合行政審議会（総務部会）委員】

部会長 照井 光一さん
副部会長 鈴木喜代子さん
委員 大島 光敬さん 宮本 俊輔さん
大井 義雄さん 上村喜美子さん
村中 一美さん
(住民生活部会より出席)
伊藤 勝也さん

◎外部評価の実施

平成28年度は、6月から8月にかけて合計6回の部会を開催し、外部評価を行いました。

評価の対象は、町が平成27年度に取り組んだ59施策のうち13施策となっています。(次ページ以降)

◎外部評価の方法

担当職員が作成した評価シートや担当職員との意見交換などにより、目標に対する事業の効果について評価を行い、今後の方向性や改善すべき点について提言を行っています。

◎外部評価の結果

総合行政審議会から、全体を通しての総括意見と各施策に対する個別の意見が報告されました。町では、評価結果を踏まえて今後の取り組み方針を決定し、改善できるものから速やかに対応していきます。

ワンポイント～総合行政審議会とは～

総合行政審議会は、まちづくりに関する諸方策について、体系的かつ総合的に審議するために設置され、公募委員と有識者委員の14人(現在20人)で構成されています。審議会には、保健福祉・住宅・環境施策を審議する住民生活部会と、行政評価を審議する総務部会の2つの部会を設置しています。

◎総合行政審議会の総括意見

平成28年4月14日から発生した熊本地震は、震度7が2回も発生するこれまでに無い大地震であり、大きな余震も長く続いたため、車中泊避難者が相次ぎ、早急な対策が求められました。

本町においては、各行政区自治会館の耐震化が進められており、役場庁舎についても大きな地震に耐えられる強度がないことから、建替えに向けた検討が本格化しています。

さて、私たちの町は、町の目指す将来像「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創るいきいき未来」を実現するため、平成24年度から第5次総合計画に基づき、協働のまちづくりを進めています。

今回の外部評価では、平成27年度に実施された59施策のうち、13施策について、町民の立場から評価を行いました。

町が進めている事業で、施策への貢献度が低い事業はなく、また施策の方向性を大きく変えるような改善点はありませんでした。

ただし、住民の意識や価値観の多様化、生活様式の変化など、地域における課題も複雑になってきており、細かな部分修正が予想されます。その際には、住民の意見を速やかに吸い上げ対応いたします。特に、子育てに関する事業は、当事者の声を聞くことで、さらに充実したサービスにつながり、それが将来の人口減少への歯止めにつながると考えます。

また、委員も今回審議した内容を、それぞれの立場で伝えていくことが大切だと思います。

【今回の審議を通じて共有した主な問題】

- ・全町一斉美化活動日などによる住民意識の向上
- ・家庭や個人で取り組めるエコ活動の啓発
- ・時代に合った子育て支援策の充実と支援の継続
- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの正しい知識の啓発
- ・農業基盤整備事業の促進による農作業の効率化
- ・農業高校生などによる観光資源の発掘
- ・職業訓練や講習会に参加しやすい体制の構築
- ・定期的な救命講習の受講機会の設定
- ・体からお酒が抜ける時間の周知
- ・学生や高齢者への自転車マナー指導
- ・新成人の実行委員会による手作りの成人式
- ・学校、地域、行政が一体となった教育
- ・絵本ふれあい事業の継続
- ・若い世代を対象としたまちづくり懇談会の開催

外部評価調査【平成27年度に取り組んだ施策の外部評価】

| 政策項目 | 施策項目 | 平成27年度の主な取り組み | 総合行政審議会委員の意見 |
|----------|--------------|---|--|
| 環境の保全 | 環境美化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆狂犬病予防注射地域巡回の実施 ◆墓地、霊園内の草刈、樹木せせん定 ◆火葬場施設の運営費を負担 ◆空き家対策審議会の開催 ◆不法投棄防止看板の設置 ◆不法投棄処理の出動（16回）など | <p>①成果指標について、ボランティア袋の配付団体数で件数を把握しているとのことですが、行政区でまとめて交付を受け、各団体に配付していることでもあるので、聞き取り調査が必要だと思います。</p> <p>②不法投棄は犯罪であり「5年以下の懲役、100万円以下の罰金」など、インパクトがある立て看板の設置も必要だと思います。</p> <p>③きれいな場所にはゴミを捨てにくいと思いますので、不法投棄をされやすい場所を普段からみんなできれいにすると良いと思います。</p> <p>④各行政区や団体で行っている清掃や花植えなどについて、全町的に一斉に美化活動を行う日を決めて実施することで、連帯感が生まれると思います。</p> <p>⑤墓地のお供え物を持ち帰らない人が多く、マナー看板も設置してありますが減りません。カラスやキツネも増えることから、検討が必要かと思います。</p> |
| 環境の保全 | 省エネ・省資源活動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆家庭のエネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに省エネ策を提案する「うちエコ診断」の実施（11件）など | <p>①うちエコ診断事業で、参加者が効果があったと思った家庭でのエコについて、住民に広く周知していくことが必要だと思います。</p> <p>②住民のライフスタイルを変えるようなエコの啓発も必要だと思います。</p> |
| 児童福祉の充実 | 児童福祉サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◆児童館の運営、行事の開催 登録人数（178人） 延べ利用者数（1万3996人） ◆放課後児童クラブの試行 ◆保育園の運営（園児71人） ◆保育所広域入所の助成（2人）など | <p>①保育士不足を解消するために、町独自の対策を検討してはどうかと思います。</p> <p>②町民アンケートでいろいろな意見が寄せられていますので、結果を十分踏まえ、事業を検討していただきたいと思います。</p> <p>③今と昔では家庭環境が違います。時代に合った子育て支援策を充実させることで、人口減少の抑止につながると思いますので、これからも支援を続けてください。</p> |
| 健康づくりの推進 | 疾病予防対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◆子ども法定予防接種の実施 ◆インフルエンザ予防接種の助成 高齢者（実1111人） 妊婦（実14人） 中学生以下（延べ820人） ◆高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の助成（298人）など | <p>①高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について、無料接種のことを知らなかったり、5年毎接種する必要があると思っている人がいますので、より一層の周知が必要だと思います。</p> <p>②本町の疾病予防対策は充実しており、他市町にはない良い事業を行っていると思います。</p> |
| 農業の振興 | 農業基盤の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ◆徳富ダム、新十津川ダム、徳富川頭首工の管理 ◆農地の区画整理や用排水路施設の整備など | <p>①本町の農業基盤整備事業は充実していると思います。今後も農業経営者の減少が予想されるので、農作業の効率化を図るために事業の促進をしていく必要があると思います。</p> |
| 観光の振興 | 観光資源の発掘 | <ul style="list-style-type: none"> ◆北海道大学の留学生による観光資源の発掘 滞在研修（4泊5日） 報告会（1回） レポート提出（6件） ◆札幌駅構内に札幌線駅、イベントポスターを掲示（ふるさとまつり） ◆新十津川総合振興公社による新十津川産のミニトマトを使用したトマトチョコやトマトジュースを開発など | <p>①観光資源発掘事業は、とても良い事業だと思いますので、今後はよりいろいろな角度から意見をもらうことができる仕組みができれば良いと思います。</p> <p>②農業高校の生徒の活躍を良く聞きますので、連携して新たな観光資源を発掘してはどうかと思います。</p> <p>③新十津川駅について、空知中央病院による園児の出迎えや地域おこし協力隊のPR活動など、大変良いと思いますので、みんなでさらに盛り上げられたら良いと思います。 また、1便のため、列車で来ても、そのまま列車で帰る人もいますので、町に滞在してもらえる工夫や、駅から役場までの道路の環境美化に取組むなど、もっと歓迎する体制を作ると良いと思います。</p> |
| 雇用の創出 | 労働者対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆中空知地域職業訓練センター協会が行う事業（職業訓練、住民講座など）に対し助成など | <p>①職業訓練や講習会などに参加しやすい体制づくりも必要だと思いますので、事業者に対してスキルアップへの理解を深める取組みも必要だと思います。</p> |

| 町担当の所見 | 担当課 |
|---|-------|
| <p>①ボランティア袋の申請時に詳細な聞き取りを行い、より正確な団体数を把握します。</p> <p>②平成26年度に作成した現在の看板も一定の効果があることから、設置箇所の充実をしていきます。なお、効果の見られない箇所がある場合は、必要に応じて、ご提案の内容も含めて、啓発看板の表示を工夫していきます。</p> <p>③町有地のほか、私有地についても地域からの情報をもとに、所有者のご理解とご協力をいただき環境美化に努めます。また、ボランティアによる清掃活動がより活発になるよう、これからも行政区を通じて支援していきます。</p> <p>不法投棄に対しては、地域の協力を得ながらパトロールを強化し、日頃から監視の目を行き届かせることで、不法投棄の抑止を図ります。</p> <p>④各地域で定着している活動時期もあり、全町同日は難しいと考えますが、各地域で実施される美化活動への参加の呼びかけのほか、広報誌での町の環境基本計画で定めるクリーンキャンペーンの重点期間（6月）の周知を引き続き進めていきます。</p> <p>⑤募参り時期に、広報誌や防災無線による重点的な周知を継続するとともに、老朽化した啓発看板を更新し、注意喚起を進めていきます。</p> | 住民課 |
| <p>①②うちエコ診断事業の参加者にアドバイスした内容を含め、省エネに対する取り組みを、広報誌を通じて町民に広く周知しております。今後も啓発などにより、省エネ意識の向上に取り組んでいきます。</p> | 住民課 |
| <p>①保育園の運営は、指定管理者の華園学園に運営を委託しており、国で定める入園児童数に応じて配置基準以上の保育士を雇用しているため、現在のところ不足となっていませんが、将来を見据え今後も華園学園と連携を図り、十分な保育環境が提供できるよう進めていきます。</p> <p>②③未就園の幼児期に対応した子育て支援センターの開設、ゆめりあでの健診事業、放課後児童クラブの運営開始、ちゃっぷーの整備など、家庭と連携した児童環境の充実に取り組んでいます。今後も時代のニーズを的確に捉え、本町の子育て支援の充実を進めていきます。</p> | 保健福祉課 |
| <p>①高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種については、平成22年度から自己負担の一部の助成を開始し、平成26年度から、全ての接種対象者に対し、自己負担の全額助成を行なっています。広報での周知や出前健康教室などでチラシを配布し、定期接種対象者（5歳きざみ）には、個別通知を実施しています。今後も高齢者に対し、分かりやすい周知を行っていきます。</p> <p>②基本健診の無料化とワンコインによるがん検診の推進に取り組んでいます。今後も、疾病の早期発見と受診への意識向上につながるよう健診環境の充実に取り組んでいきます。</p> | 保健福祉課 |
| <p>①農地の大区画化を行う基盤整備事業により、農作物の生産コストが低減され、また、担い手への農地集積・集約化につながり、農家の経営の向上と安定を図っていますので、事業の実施主体である北海道とともに事業を推進していきます。</p> | 産業振興課 |
| <p>①北海道大学の協力を得て、平成27年度に観光資源の洗い出し、平成28年度に食に関する観光資源の開発に続き、平成29年度も、留学生などの新しい視点により、町の魅力的な観光ルートを見出す事業を展開し、新たな観光振興策の実施につなげていきます。</p> <p>②北海道農業高校生ガーデニングコンテストにおける2年連続の大賞受賞、考案したプリンのコンビニでの商品化など、数々の活躍を見ますと、連携による新たな観光資源の可能性もあると思いますので、今後は連携によりどのような取り組みができるかを検討していきます。</p> <p>③いろいろな方が、いろいろな方法で新十津川駅を盛り上げていただいていることにつきましては、大変ありがとうございます。町の観光振興に貢献していただいております。今後は、その様な活動に対してできるだけ支援を行い、また、環境・体制整備についても検討していきます。</p> | 産業振興課 |
| <p>①職業訓練などによりスキルアップを図ることは、事業者・労働者にとって有益なものであると考えますので、中空知地域職業訓練センター協会との連携も図りながら、理解を深める取り組みや職業訓練などの開催に関する情報を提供し、利用促進を図っていきます。</p> | 産業振興課 |

外部評価調書【平成27年度に取り組んだ施策の外部評価】

| 政策項目 | 施策項目 | 平成27年度の主な取り組み | 総合行政審議会委員の意見 |
|------------|------------|---|--|
| 消防・救急体制の充実 | 救急活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◆滝川・芦別・赤平・雨竜との広域事務組合による運営 ◆消防団の運営 ◆平成27年1月～12月出動回数 救急出動件数(252件) 搬送人員(243人) など | <p>①救命講習は、1回で身に付くものではないので、定期的に地域を巡回して受講機会を設けることが必要だと思います。</p> <p>②救命講習は、中学生ぐらいだと理解できると思いますので、家族のために中学生も対象に行ってはどうかと思います。また、子育て世帯の親向けの救命講習もあれば良いと思います。</p> |
| 生活安全体制の充実 | 交通安全の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆交通安全誘導路面標示(町道南4号線・西1線交差点) ◆町交通安全指導員による街頭指導 ◆青色回転灯装着車両による町内防犯パトロールの実施 ◆交通安全車両の管理など | <p>①飲酒後、体からアルコールが抜けるまでの時間が分からないので、目安となるものを周知することで、酒気帯び運転が減ると思います。</p> <p>②小さい子どもが急に道路に飛び出して来ることがあるので、若いお母さんに啓蒙・意識付けをしてはどうかと思います。</p> <p>③高校生や高齢者の自転車の危険な運転をよく見かけますので、マナー指導が必要だと思います。</p> <p>④毎月1日、15日に立哨指導を行っていますが、時には日を変えることで、いつもと違う状況も見えると思います。</p> <p>⑤交通安全活動など地域で頑張っている方や団体を町がもっと評価・表彰することで、ほかの人も活動してみようと思うのではないのでしょうか。</p> |
| 社会教育の充実 | 社会教育活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆成人式の開催 参加52人(参加率85.2%) ◆さっす体験事業の実施 ◆母村(十津川村)との交流 小学生24人中学生4人を派遣 十津川村の青年5人受け入れ ◆社会教育に関する研修会、セミナーへの参加(7回) ◆改善センターの運営など | <p>①児童・生徒母村交流事業について、小学校で母村研修の前年度に行っている社会科副読本や開拓記念館で町の歴史を学ぶ授業を、母村研修に行く年に一連して行うことで、より実のあるものになると思います。</p> <p>②本町の成人式の式典は、他市町と比べても大変素晴らしいと感じました。</p> <p>③町がバックアップし、新成人の実行委員会による手作りの成人式とすることで、より思い出に残る式典になると思います。また、10歳の時に行うハーフ成人式というものもあり、町が目されるような事業も検討してはどうかと思います。</p> |
| 社会教育の充実 | 青少年健全育成の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◆青少年健全育成のつどい ◆少年団、特別クラブ、部活動のユニフォーム助成 ◆子ども会の活動に助成など | <p>①青少年健全育成町民会議、子ども会育成者連絡協議会、PTAなどさまざまな会議がありますが、学校、地域、行政が一体化し、地域ぐるみで子どもを育てることが大切だと思います。</p> |
| 社会教育の充実 | 読書活動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆図書館の管理運営 貸出人数(1万9072人) 貸出冊数(9万4082冊) ◆イベントの開催 絵本ライブ、トークライブ、段ボールで作る紙芝居舞台など 16事業(延べ2981人) ◆ギャラリー展示(12回) ◆3～4カ月児検診時に絵本の読み聞かせと絵本2冊、手作り布バックの贈呈(42人) など | <p>①本町の図書館は、管内では1番素晴らしく充実した図書館だと思います。</p> <p>②絵本ふれあい事業は大変良い事業なので、ずっと続けてほしいと思います。が、どのように利用されているかの事後調査も必要だと思います。</p> <p>③本町は広いので、交通手段がなく図書館に来られない方への支援策も検討してはどうかと思います。</p> <p>④読書や運動で子どもは大きく成長します。また高齢者も生涯学習の時代です。これからも読書活動をPRしてください。</p> <p>⑤高齢になると視力が低下するので、大きな活字の本が増えると良いと思います。</p> |
| 住民参加の促進 | 広聴活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ◆町長が町民の方と意見交換をする「まちづくり懇談会」を各行政区、子育て世帯、青年部を対象に開催 開催回数(13回) 参加人数(269人) ◆協働のまちづくりを進めるため、公募委員と有識者委員で構成する総合行政審議会を設置・運営 全体会議(4回) 外部評価(5回) 住民生活部会(1回) など | <p>①青年部や子育て世帯を対象としたまちづくり懇談会は、参加しやすく、また同じ世代だと意見も言いやすいので、ぜひ続けてください。また、色々な団体に、ピンポイントに案内をすることで参加率が上がると思います。</p> <p>②まちづくり懇談会の開催時間について、女性が参加しやすい時間帯があると思います。女性の参加が少ないところで女性が意見するのは大変なので、参加しやすい時間帯での開催を検討してください。</p> <p>③まちづくり懇談会の周知方法について、チラシを町内で回覧していますが、大事な行事なので、回覧ではなく各戸配布なども検討してください。</p> <p>④町民アンケートの回答率は、年々上がってはいますが、まだ少ないように感じるので、意識の向上を図ったほうが良いと思います。</p> |

資料

| 町担当の所見 | 担当課 |
|--|-------|
| <p>①救命講習は、ご指摘のとおり定期的な受講により身に付くものであり、受講する機会の拡大が必要と考えます。今後、行政区長と協議し、巡回型も含め受講しやすい開催方法を検討していきます。また、救命講習について、より多くの町民が受講していただくよう広報などにより救命講習のPRに取り組んでいきます。</p> <p>②中学生向け、子育て世帯向けの救命講習の開催は可能です。今後、関係機関と協議（対象者の意向などの確認）し、検討していきます。</p> | 総務課 |
| <p>①広報誌などで飲酒運転根絶を呼びかけるとともに、飲酒運転と知りながら同乗するなどの罰則や、体内のアルコールの処理にかかる時間の目安などについても周知していきます。</p> <p>②子育て支援センターなど、関係機関と連携を取りながら、若い保護者に対しての啓発に取り組んでいきます。</p> <p>③子どもや高校生については、家庭や学校からの指導、地域の方からの声かけなど、広い範囲での見守り・指導体制が大切であると考えます。高校生については、小中学校の段階から自転車などの交通安全マナーの指導に取り組んでいますが、危険な行動を見かけた際は、声掛けや家庭や学校への情報提供などのご協力をお願いします。また、高齢者の交通安全については、老人クラブなどの団体に働きかけながら、出前講座などによる啓発を進めていきます。</p> <p>④交通安全指導員による登校の立哨指導は、基準日である毎月1日、15日に限らず、交通安全期間や、その他必要に応じて立哨しているところですが、今回のご提案については、交通安全指導員会で検討していきます。</p> <p>⑤表彰については、表彰規程に基づき行っていますが、日頃の交通安全活動についても広報誌で紹介するなど広くPRを進めていきます。</p> | 住民課 |
| <p>①研修の前年度は、その学年の時期に必要な学習として母村と本町の知識を身に付ける授業を実施しています。研修年度（5年生時）は、参加児童に復習を兼ねて研修会を行っているため、研修年度にまとめて行うことは考えていません。</p> <p>②毎年厳粛な雰囲気の中で式典がとり行われています。また、平成29年の成人式から、愛郷心を育むために、町民憲章の朗唱を行っています。</p> <p>③町内在住者の新成人が少ないことから、新成人の実行委員会形式による開催はしていませんが、今後も思い出に残る式典になるよう検討を行っています。なお、ハーフ成人式については、今のところ開催する予定はありません。</p> | 教育委員会 |
| <p>①学校、家庭、地域、行政の連携や協調を図るため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を平成30年度に設置し、地域ぐるみで子どもを育てていきます。</p> | 教育委員会 |
| <p>①図書館では、住民の方々が利用しやすいようボランティアの協力のもとさまざまな事業を展開しており、今後も子どもから大人まで読書などに親しむ環境づくりに取り組んでいきます。</p> <p>②絵本ふれあい事業（3、4カ月児）および絵本ふれあい事業セカンド（2歳4、7カ月児）は、対象の幼児に絵本2冊などを贈呈しており、引き続き継続実施していきます。また、事後調査は7、8カ月検診などを利用して聞き取り調査しており、今後も実施していきます。</p> <p>③以前に移動図書館を検討しましたが、費用対効果などから今のところ実施することは考えていませんので、ご理解願います。</p> <p>④図書館広報事業として、図書館だよりの発行および町の広報誌、ホームページを通じて情報提供しており、引き続き読書活動の情報発信に取り組んでいきます。</p> <p>⑤図書館では、活字が大きく見える拡大器の設置や大活字本を購入しており、書架のスペースの関係も踏まえて、大活字本をそろえていきます。</p> | 教育委員会 |
| <p>①今後も、青年部や子育て世帯を対象とした懇談会を続け、その他の団体にも案内し開催していきます。</p> <p>②開催時間については、行政区長に依頼して決定しておりますが、子育て世帯や女性の会など対象となる団体が参加しやすい時間帯を検討し開催していきます。</p> <p>③日程調整の関係で配布から開催までの期間が短い場合もあり、町内会長、班長などにお手間を取らせませんが、回覧ではなく、全戸に案内チラシを配布していきます。</p> <p>④アンケートの結果を活用した取組事例などを広報誌、アンケート用紙で周知し、アンケートの重要性、興味を持ってもらえる取り組みを進めていきます。</p> | 総務課 |